

## 〈要求の基本的考え方〉

- 教育委員会では、市長と教育委員会で共有した「北九州市教育大綱」の方向性に沿って、子ども一人一人の個性を踏まえながら、市民総ぐるみで、本市の未来を担う子どもたちの心の中にシビックプライドを醸成する取組みを推進します。
- 「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校、家庭、地域それぞれがもつ教育力を発揮し、連携して子どもの教育を着実に推進するとともに、現プランが平成30年度に終了することから、次期計画の策定を進めます。
- 「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組みを着実に実施するとともに、次期学習指導要領への対応、子ども図書館の整備、教員が子どもと向き合う時間の確保など、教育環境の向上を図ります。

## 心の育ちの推進・シビックプライドの醸成

優れた芸術や伝統文化など豊かな体験活動を通して、子どもたちの心の育ちを推進するとともに、いじめ等の問題行動について未然防止、早期発見、早期解決を図ります。

また、文化芸術に直接触れ、学ぶ機会を充実し、豊かな情操を育むとともに、シビックプライドを醸成します。

継 心の教育推進事業

新 北九州市小学校合唱フェスティバル  
など

要求額 30 百万円 (対前年度 +4.1%)



## 学力・体力の向上

「北九州市学力・体力向上アクションプラン」に基づいた取組みを着実に実施し、学力・体力の向上を図ります。

拡 小学校英語教育の充実

新 小学校プログラミング推進事業

拡 学校の読書活動推進事業

継 子どもひまわり学習塾事業

など

要求額 558 百万円 (対前年度 +20%)



## 特別支援教育の充実

特別支援学校の整備など、全市的な視野に立った、特別支援教育の体制整備を進めます。

外部人材の配置・活用等により、特別支援教育における相談機能や支援体制の充実を図るとともに、教職員の専門性の向上や市民への理解啓発を進めます。

継 小池特別支援学校整備事業

拡 特別支援教育を推進する体制の充実

新 音声教材等活用推進事業

拡 特別支援学校スクールバス運行体制の整備  
など

要求額 884 百万円 (対前年度 +39.8%)



## 信頼される学校運営の推進

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどの専門スタッフが、教員とともにチームとして様々な教育課題に対応するための「チーム学校」の体制整備を進めます。

継 学校支援のための市費講師等配置事業

継 学校現場における業務改善モデル事業

拡 「チーム学校」運営・推進事業

新 kitaQ せんせいチャンネルを活用した人材育成事業  
など

要求額 1,186 百万円 (対前年度 +6.4%)

## 教育環境の整備

子どもたちが快適な環境で学べるよう、エアコン設置を進めるとともに、安全で安心な教育環境を整備するため、老朽化対策を進めます。

継 小中学校等空調整備事業

拡 学校施設老朽化対策事業  
など

要求額 6,743 百万円 (対前年度 +16.8%)



## 図書館の整備、機能の充実

子ども図書館の整備や「本の通帳」システムの導入など、子どもたちが読書に親しむことができる環境整備を進めます。

継 子ども図書館整備事業

継 「本の通帳」(読書記録)システム整備事業

要求額 502 百万円 (対前年度 -28.7%)

